

1. 教科の目標

- ・具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え用いることができるようにする。
- ・具体物を用いた活動などを通して、量と測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにする。
- ・具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにする。

2. 到達目標

観点	関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解・技能
目標	数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもととする。	算数的活動を通して、数理的な処理に親しむ。	整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、物の大きさを比較したり、身近な立体を観察したり構成したりする。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方及び整数の計算の意味を理解し、量や図形についての理解の基礎となる経験を重ねている。

3. 年間指導計画

月	学習内容	学習のねらい
4	もりにいこう	・2つの集合の多少について、1対1対応の考え方を用い、工夫して比べることができる。
5	10までのかず かずのおおきさ・じゅんじょ いくつといくつ なんばんめ	・10までの数字を正しく読みたり書いたりすることが正確にできる。 ・10までの数の意味と数え方が十分にわかる。 ・10までの数の合成・分解ができる。 ・方向や位置に関する言葉と数を用いて、物の位置をわかりやすく簡潔に表す方法を考えることができる。
6	たしざん(1) あわせていくつ ふえるといくつ たしざんカード たしざんの絵本ちからだめし	・和が10以下の加法の計算が正確にできる。 ・文や絵から加法の場面について考え、わかりやすく説明することができる。
7	ひきざん(1) のこりはいくつ ひきざんかあと2 0のけいざん ちがいはいくつ ひきざんのえほん1 ちからだめし1 おさらい	・10以下の数について、減法の計算が速く正確にできる。 ・数について減法ができることを理解し、減法の記号と等号を用いた式が十分にわかる。 ・2量の大きさを判断し、正しく立式ができる。 ・絵本作りを通して減法の用いられる場面の理解を深める。 ・既習事項の確かめをする。
9	かたち 10より大きいかず 20までのかず 20よりおおきいかず ちからだめし チャレンジ	・立体の形や面の特徴に着目して図形を分類することができる。 ・10より大きく60未満の物の数を数えたり、数字を用いて表したりすることが正確にできる。 ・10のかたまりを作って、20より大きい数を数えることができる。
10	かずをさがそう くりあがりのあるたしざん ちからだめし チャレンジ	・探した数について、わかりやすくノートにまとめることができる。 ・1位数と1位数の加法で、繰り上がりのある場合の計算が正しくできる。
11	ひきざん2 くりさがりのあるひきざん カードれんしゅう	・(十何)-(1位数)の減法で、繰り下がりのある計算が速く正確にできる。 ・繰り下がりのある減法の計算では、10から先にひけばよいことがわかる。
12	ちからだめし チャレンジ たすのかなひくのかな おさらい	・文章題を読んで、加法、減法の特徴を的確に捉え、どちらを用いればよいかを筋道を立てて考えることができる。
1	ながさくらべ ちからだめし	・直接比較、間接比較で長さの違いを比べたり、同じ量の単位で長さを数で表して比べたりすることが正確にできる。 ・10までの数の加法・減法の計算に習熟する。
2	おおきなかず 100までのかず 100よりおおきいかず たしざんとひきざん ちからだめし チャレンジ	・100までの数を工夫して正しく数え、正確に読みたり書いたりできる。 ・100より大きい数を読みたり書いたりできる。 ・簡単な(2位数)±(1,2位数)の計算のしかたを理解する。 ・既習事項の確かめをする。
3	1ねんのまとめ ぴったり10にしよう ぴったり0にしよう	・生活の場面からいろいろな問題を作り、立式することができる。 ・1年で学習したことに進んで取り組んだり見直したりして、学習のまとめをすることができる。

4. 評価の観点・方法

発言内容 ノートのまとめ方 プリント テスト 学習態度 ドリル 取り組む様子 計算練習
練習問題 作品作り カード作り 計算カード練習

5. 保護者の方へのお願い

たしざんやひきざんの学習後、計算カードの課題を毎日出します。毎日続ける努力が実を結び、計算力がついてきます。前の日と比べながら、ほめ、励ましてあげてください。プリントなど、間違えたところは、必ず直すよう指導しています。直さずに持って帰った場合は、声をかけてもう一度学校に提出させていただきます。